

● OB・OG会の諸活動について

本年度は、諸般の事情を鑑み各種行事の開催中止及び変更等が数多く発生しております。OB・OGの皆様におかれましては、楽しみにされ、ご予約いただいている行事もあるかと思いますが、以下の通りとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

【OB・OG会の行事】

- 令和2年度OB・OG総会・懇親会 → 中止(代替の開催はありません)
- 令和2年度OB・OG現役懇談会 → 中止(代替の開催はありません)
- 令和2年度OB・OG六旗会 → 中止(代替の開催はありません)
- 立教大学体育会応援団創部90周年記念式典 → 2021年3月実施の予定を延期(時期未定)

【現役部員および連盟の行事】

- 東京六大学応援団連盟合同演奏会 → 中止(代替の開催はありません)
- 東京六大学応援団連盟「六旗の下に」 → 開催について検討中
- 第50回定期演奏会 → 12/19開催予定(前頁記事参照)
- 第58回団祭「十字の下に」 → 12/19開催予定(前頁記事参照)
- 令和3年度旧幹部送別会 → 開催未定

● 東京六大学野球秋季リーグ戦応援について

現在、開催されております東京六大学野球秋季リーグ戦につきましては、上限を5,000人とした有観客で試合を行っておりますが、応援団については外野席での活動のみとなります。

またOB・OGを含む一般の観客は内野席のみとなり、「応援席」も今回は設置されずに内野席となりますので、ご注意ください。

また、感染にあたっての注意事項(新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン)が東京六大学野球連盟のホームページより発表されておりますので、ご留意のほど、よろしくお願いいたします。

東京六大学野球連盟 (<http://www.big6.gr.jp/>)

● OB・OG会費納入のお願い

OB・OG会費のご納入をお願いいたします。会費は本会報の発送等OB・OG間の親睦および現役の合宿費、新人勧誘費、外部指導者費用他支援に有効に使用させていただきます。何卒趣旨をご理解の上、ご納入方、よろしくお願いいたします。(会計 浅井雅)

- 平成27年～31年ご卒業 5,000円(OB・OG会運営費 1,000円、学生支援金 4,000円)
 - 平成26年以前にご卒業 8,000円(OB・OG会運営費 4,000円、学生支援金 4,000円)
- 同封の郵便振替用紙をご利用いただきますと手数料がOB・OG会負担となります。
- 銀行振込の場合の振込先
三井住友銀行 池袋支店 普通 625914 立教大学応援団OB・OG会 会計委員 浅井雅
三菱東京UFJ銀行 池袋支店 普通 361078 立教大学応援団OB・OG会 会計委員 浅井雅

尚、今年度よりスマートフォンからのキャッシュレス決済(クレジットカード払い)が可能になりました。詳細につきましては、同封の別紙に記載いたしましたので、ご利用ください。

【会報発送時期につきまして】

秋会報につきましては、例年8月下旬から9月上旬に発行してはいたしましたが、本年は各種行事の開催可否および日程が未確定なものも多く、その決定等を見てからの発行ということで、この時期となりました。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

【編集後記：芙蓉の高嶺】

いつも、当たり前に行ってきたことが、実は当たり前ではない。そんなことを感じる一年だった。野球も応援も、実は、普段から本当に多くの人間が様々な努力や工夫をしながら実施するものだという事、そんなことをこの疫禍は教えてくれたような気がする。応援ができることの喜びと感謝を、今こそ新たにしたいと思う。(編集責任者 細川義洋)



● OB・OG会長に昭和62年卒 風間進さん



今春のOB・OG総会中止に伴い、郵送にて執り行われました会長選挙の結果、現会長の昭和62年卒風間進さんに引き続き会長職をお願いすることとなりました。

ご投票を頂きました皆様、誠にありがとうございます。尚、風間会長の任期は令和4年の春季に予定されておりますOB・OG総会までの約二年間となります。

つきましては、風間新会長より会長就任にあたってのご挨拶を以下に掲載させていただきます。

【会長就任挨拶】

この度、これまでに引き続きましてOB・OG会 会長を拝命致しました昭和62年リーダー部卒 風間進でございます。

私のような若輩のものが、このような大役を仰せつかりますこと、改めて身の引き締まる思いではございます。

さて、ご案内の通り目下の疫禍の中、応援団もその活動に様々な影響を受けております。東京六大学野球春季リーグ戦での応援活動、東京六大学応援団連盟合同演奏会など参加・開催の叶わなかった行事も多く、学生達の悔しさ残念さはいかばかりかと思っております。

しかし現役の学生達は、このような時であればこそと、皆が協力し知恵を出し合いながら様々な応援スタイルや新しい試みにも挑戦しながら約90年に及ぶ応援団の歴史と伝統を次世代に繋ぐべく、日々、努力精進しております。

彼らのこうした活動は、単に現役学生の為となるだけではありません。現役学生がこのようにして、活動を維持し発展させてくれることは、自分達が青春時代を過ごした応援団が、変わらずにそこにあるということ、人生における一つの心の拠り所としている我々OB・OGにとりまして本当に大切なことであり、我々としても、この現役部員達に深く感謝をしなければならない。そんな思いを新たにしているところです。

OB・OG会は、その活動主旨として"現役部員への支援"を掲げております。今こそ、この支援を具現化し現役の活動に我々も資すること、そしてもちろんこの世情にあってもOB・OG同士が、お互いの"繋がり"を保ち、更に親睦の輪を広げる為に、微力ながらも精一杯に勤めさせていただきますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程、何卒、よろしくお願いいたします。

● OB・OG総会の議決を郵送投票にて実施しました。

すでに、ご案内差し上げた通り、令和2年度OB・OG総会の中止に伴いまして、以下の議案については郵送にて投票を実施させていただき、以下の通りの結果となりました。

● 第一号議案 新会長選任について

候補者 昭和62年卒 風間進 有効得票数 327 信任 327 不信任 0

上記結果をもちまして、会長を風間進さんをお願いすることで決しました。

● 第二号議案 平成31年度決算報告承認

有効得票数 315 承認 315 不承認 0

上記結果をもちまして、平成31年度決算報告が承認されました。

● 現役部員のコロナとの闘い、「悔いはない」と言える一年に。

かつてない疫禍に見舞われる中、現役部員が何に苦勞しそして何を獲得したのか。彼らでなければ語ることでできないお話を伺いました。



(左から) 稲山団長 / 松本主務 / 小林リーダー部長 / 佐藤吹奏楽部長 / 関本チアリーディング部長

— この期間、最も苦勞したのはどのようなことでしょうか？

団員の心が応援団から離れてしまわないようにすることです。しかし、素早いオンライン練習への移行や団内成果発表会の企画、SNSによる発信などを皆が協力して行い、退部者を殆ど出すことなく対面活動の再開まで繋げることができました。(稲山団長)

応援団の良い部分を失わずに世の中の常識とすり合わせる発想と企画に苦心しました。(松本主務)

リーダー部のオンライン練習では、気合いという面を一切なくすという苦渋の決断をしました。それに代えて、拍手や型と呼ばれる技術面の醸成に力を入れました。(小林リーダー部長)

— 今回の件を通して得たものは何かありますか？

今年は、これまで毎年繰り返してきた練習方法を嫌でも変えなければなりません。だからこそ今まで気づくことのなかった新しい視点やオンラインだからこそ近づいた先輩後輩関係など様々なモノを得られたと思います。(稲山団長)

通常練習では人任せにしたり、人を頼っていた部員も一人きりで練習をするということに緊張感が持てたと思います。(松本主務)

周囲に合わせる基準がなければ、指摘してくれる人もいない環境だからこそ1人1人が自身の技術向上に必要なことは何かを考えるようになり、自主性が高まったと考えます。(佐藤吹奏楽部長)

自分自身でやる気を奮い立たせ技術向上に励む事が必要とされるこの期間を有効活用し、改めて自身の技術向上した部員も多い様と感じます(関本チアリーディング部長)

— これからの活動に向けて一言

スタートダッシュは遅くなりましたが、これから気合いを入れて参ります。(小林リーダー部長)

自宅練習で着実に積み上げてきた土台を活かして例年以上の演奏を目指します。今後の活動一つ一つを大切に有意義なものにしていきたく思います。(佐藤吹奏楽部長)

今後の活動方針について、先行きが不透明な事を言い訳にせず、幹部が明確な目標をしっかり提示する必要があります。今出来る最大限の事は何かを常に考え、ひと回り大きくなった姿を見ていただきたいと思います。(関本チアリーディング部長)

— OBやOGに望むこと

今後のことを考えても、震災や感染症のようなイレギュラーな事態への対策や代替案を検討し、残していく必要があると思います。是非、お知恵を拝借したいと考えております。(稲山団長)

練習に御顔を出して頂ければ大きなモチベーションに繋がると考えます。(小林リーダー部長)

常態の悪い器材が多くなっております。良い状態で将来に残していけるよう引き続きご支援をよろしくお願いいたします。(佐藤吹奏楽部長)

— 団長より

いつもなら当たり前前にできていたことができずに時間が過ぎていきました。しかしまだ第八十九代が終わった訳ではありません。残りの時間で後輩達に伝えるべきことを伝え、幹部である同学年の者と向き合い、最後には胸を張って「悔いはない」と言えるように精進いたします。

● 吹奏楽部常任指揮者 高橋充先生インタビュー — 第50回定期演奏会によせて —

かつてない疫禍に見舞われる中、現役部員が何に苦勞しそして何を獲得したのか。彼らでなければ語ることでできないお話を伺いました。



吹奏楽部常任指揮者の高橋充です。早いもので、私が吹奏楽部と一緒にさせていただくようになってから早11年余の歳月が流れようとしております。

2009年2月頃、前年の吹奏楽部長か指揮者の方だったと思いますが、本当に突然に「次の代の学生達が指揮者を探している。」とのメールが届きました。実は、その半年ほど前に作曲家の清水大輔さんという方と横浜あたりで飲んでいた時、その清水さんと交流のあった明治大学の学生達とも合流したことがありました。その学生達が立教大学に私を推薦してくれたようです。

その後、まずは一度、合奏を見に来てくださいとのことでしたので、池袋に行って合奏を見ました。受任するかどうかは、その後の判断ということでした。

お世辞にも上手とは言えない。

これが、その際に聞いた基礎合奏の正直な感想です。しかし演奏に対する一生懸命さ、まっすぐさ、それが素直に音に出ています。そして何よりも演奏に心がある。そこに私は大きな感銘を受けました。こんなにも音というものに対して純粋な心を持ち、それを演奏という形にしている集団があるのか。ある種、衝撃的でした。もう、このまま今すぐにも指揮者就任を正式決定してしまいたい。そう感じたことは、今でも鮮明に覚えています。

一方で、指揮者就任後、別の意味で衝撃的だったこともあります。一つにはメールでの漢字の多さ、そして学ランを着た男子幹部の迫力です。この二つについては、やはりこの団体は紛れもなく「応援団」なんだと確信させられたことでもあります。

この吹奏楽部は「心を持って演奏するバンド」です。感情を込めて、音楽で気持ちを人に伝えるという事を大切にしている。それは就任当初から今に至るまで全く変わっていません。その心の下で技術や経験の差異はあっても、皆が同じ演奏者であること、初心者も初心者とは思わずに、一つの思いで繋がること。そんなことが、この立教大学体育会応援団吹奏楽部の大切にすべきものであり、強みなのではないでしょうか。(了)

● チアリーディング部 金賞・銀賞受賞



チアリーディング部は、今夏開催された2020 USA チアリーディング&ダンス バーチャル チームコンテストにおいて、パープルチームが金賞、ホワイトチームが銀賞を獲得しました。

厳しい状況の中、工夫したりリモート練習と短時間でも密度の濃い集合練習で掴んだ素晴らしい栄光です。大会で着用したのは90周年記念の募金で作った新衣装の「ヴィーナス90」です。濃紫に金のRが眩しい衣装を着て、声も出せない中でも笑顔と自信と応援への情熱が見えない観客に届く素晴らしい演技でした。

● 定期演奏会・団祭「十字の下に」は同日開催に！

今年度の吹奏楽部・チアリーディング部 第50回定期演奏会及び第58回 団祭「十字の下に」は以下の通り、同日の開催となりました。尚、両催事とも有観客/無観客、動画配信の有無等を等につまましては現段階で未定となっております。最新の情報の確認につきましては応援団ホームページにてご確認いただくか応援団団室までお問合せ下さい。

【開催案内(予定)】

開催日程 平成20年12月19日(土) 定期演奏会 14時より / 団祭 17時頃より<詳細未定>

開催場所 練馬区立練馬文化センター (<https://www.neribun.or.jp/access/nerima.html>)

【開催情報の確認先】

応援団ホームページ : <https://spupachipachi2018.wixsite.com/rikkyo-ouendan>

応援団メールアドレス : rikkyo_endan@yahoo.co.jp

団室電話番号 : 03-3985-2877

※ 定期演奏会は当初11月開催と広報されておりましたが、上記の通り変更となりました。